

ポストコロナ時代の新しい掛川へ 今こそ「協働のまちづくり」の本領発揮

はじめに

新型コロナウイルスの感染拡大は、私たちの生命、生活、経済活動に甚大な影響を与え続けています。人類は感染症や自然災害に見舞われるたびに団結力と忍耐をもって苦難を乗り越えてきました。コロナ禍においても、人を思いやり、みんなで協力し合うことが大切です。掛川市はこれまで、市民、事業者と力を合わせてまちづくりを進め、さまざまな施策や事業を成し遂げてきました。コロナ禍という歴史の岐路に立っている今こそ、お互いが協力し合い、知恵を出し合う「協働のまちづくり」が力を発揮するときです。

これまで培ってきた協働の力によって、この災禍を乗り越え、地方分散の受け皿づくり、デジタル化を進め、ポストコロナ時代の新しい掛川市を築いてまいります。

整備するなど、感染拡大の防止に努めてまいります。

02 地方分散の受け皿づくり

新型コロナウイルスによる地方分散の動きが高まるなか、真に豊かな生活ができる地方の良さを広め、新しい分散型の国づくりに舵を切っていく必要があります。

掛川市は、歴史と文化、自然、広域交通拠点などの地域資源に恵まれています。これらを最大限に生かし、地方分散の受け皿として、新たな投資を呼び込み、掛川への人やモノの流れを創出していきます。

03 デジタル化の推進

データやテクノロジーを活用し、地域課題の解決や新しい価値を創造するデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進が求められています。

市民の利便性を向上させるため、マイナンバーカードを利用した電子申請システム「マイナポータル」の活用を進めるとともに、「デジタル化を成長の原動力」としていくため、DX推進計画を策定してまいります。

01 新型コロナウイルス対策

感染対策の切り札となるワクチンは、接種の優先順位を踏まえ、希望する市民への接種を開始できるよう、体制構築を図ってまいります。小笠医師会などと協働し、引き続きPCR検体採取センターの検査体制を確保し、抗原検査キットを

04 地域循環共生圏の構築

国は2050年までに温室効果ガス排出を実質ゼロにするカーボンニュートラルを宣言しました。基礎自治体は、自然エネルギーなどの地域資源を活用しながら、自立・分散型の社会を形成し、地域の活力を最大限に発揮することが求められています。

昨年7月に設立した「かけがわ報徳パワー㈱」が4月から公共施設への電力供給を開始します。地域新電力会社と連携し、地域資源を活用した脱炭素社会と地域課題解決に取り組んでまいります。

また、これからの社会で拡大が見込まれる洋上風力、小水力、バイオマス、水素などのエネルギー活用の研究を進め、地域循環共生圏の構築を目指してまいります。

終わりに

新型コロナウイルス対策、地球温暖化対策、SDGsの取り組みなど、多くの課題は国際協調や市民の結束・協力をくして解決することは不可能です。

基礎自治体の抱えるさまざまな課題も、市民が力を合わせることで大きな力が発揮され、その解決につながっていきます。まさに、掛川市がこれまで進めてきた「協働のまちづくり」は、この協調であり、人々の結束であり、包摂でもあると考えています。

これからも、掛川市はみんなが同等の立場で協力する「協働」の心を持ってまちづくりを進めていただきたいと思います。乗り越え、ポストコロナの新しい掛川市が築かれていくと信じています。



3期12年を振り返って 市長退任のあいさつ

このたび、私は4月23日の任期満了により、掛川市長を退任することになります。就任以降、3期12年にわたり、「希望が見えるまち・誰もが住みたくなるまち掛川」の実現に向けて、市民や事業者のみなさんと協働のまちづくりを進めてまいりました。

この間、リーマンショックに端を発した経済の悪化など、多くの困難がありました。中東遠総合医療センターの開院をはじめ、「ふくしあ」を中心とした地域包括ケア体制の確立、幼児教育・保育施設の整備などの子育て支援、産業基盤の整備や企業誘致、災害への備えなどに精一杯取り組み、市民意識調査では8割近い市民のみなさんに住みやすいまちとの評価をいただいております。

掛川市は、歴史・文化の蓄積があり、生活環境が良く、広域交通の利便性も高い、恵まれた自治体であります。そして、報徳の教えや生涯学習運動によって培われ、協働のまちづくりでさらに洗練された高い市民力を持ったみなさんの存在があります。

新型コロナウイルスにより、地方分散の流れが生まれる中、これらのレベルの高い基盤を生かして、今後も市民と行政が力を合わせたまちづくりを進めていただきたいと思います。

これからのますますの掛川市の発展を願い、市民のみなさんご健勝とご多幸をお祈り申し上げまして、退任のあいさつといたします。

掛川市長
松井 三郎

歴史と文化、自然、広域交通拠点などの
地域資源を最大限に生かし、
掛川への人やモノの流れを創出

洋上風力、バイオマス、水素などの
エネルギー活用の研究を進め、
脱炭素社会へ

写真：垂木川と桜並木

令和3年度 施政方針

2月定例議会が2月17日～3月19日まで開かれ、松井三郎市長が令和3年度の施政方針を述べました。その一部を紹介します。

※全文は掛川市ホームページ（右の二次元コード）で公開しています。



令和3年度 主な事業

産業・経済・シティプロモーション 活力ある産業を生み出すために

地域の特性を生かした力強い農業と採算性の高い茶業の推進

- ・オリーブ産地化推進 671万円
- ・日本一茶産地PR、高付加価値化など 2,431万円

ポストコロナへの経済活動の推進と雇用確保・創出

- ・**新** 新たなビジネススタイル応援事業 1,000万円
- ・産業立地奨励事業費補助金 3億2,472万円

新しい日常を踏まえた観光・移住施策の推進

- ・地域おこし協力隊 400万円
- ・**新** 移住促進拠点施設整備事業補助金 1,000万円
- ・**新** 観光誘客推進事業（教育旅行・スポーツ合宿） 450万円



▲お茶摘み体験をする小学生

教育・文化 / 心豊かな人づくりのために

GIGAスクール構想の実現と生涯学習の推進

- ・学校教育ICT化推進事業 1億 193万円
- ・**新** 地域部活動推進事業 265万円
- ・**新** 大東給食センター改修 1億 661万円
- ・**新** 電子図書館システム構築(デジタルアーカイブなど) 576万円

掛川らしい文化の創造と新たな文化芸術振興の推進

- ・**新** 日本工芸金工展開催事業 90万円
- ・かけがわ茶エンナーレ 1,450万円
- ・掛川城周辺施設改修事業 1,101万円
- ・松ヶ岡整備 1億 765万円

オリンピック・パラリンピック開催によるレガシーの創出

- ・東京オリンピック・パラリンピック等推進事業 1,630万円



▲小中学校全校に配備されたタブレット端末

安全・安心・都市基盤整備 / 災害に強いまちづくりのために

ポストコロナに対応する大規模自然災害対策の推進

- ・**新** 防災ガイドブック改定 1,433万円
- ・木造住宅耐震補強工事補助（**新** 在宅避難促進追加） 9,028万円
- ・緊急輸送ルート沿道耐震化など 3,153万円

公共インフラの災害対策推進と消防救急業務の強化

- ・**新** 掛川市役所天井改修 2億3,811万円
- ・河川整備（改良11か所、統合治水計画策定） 2億 430万円
- ・海岸防災林強化事業 5億 163万円

多極ネットワーク型コンパクトシティの形成

- ・ウォーカブル推進都市検討 700万円
- ・**新** 大坂地区都市計画公園等検討 100万円
- ・**新** 横須賀街道の無電柱化等検討 100万円



▲まちなかを人中心のウォーカブルな空間へ取り組み始める。

健康・子育て・福祉 / 健やかにくらしづくりのために

市民総ぐるみで次世代を育成する環境整備の推進

- ・認定こども園・保育園等建設事業 4億1,687万円
- ・待機児童解消対策事業 6,361万円
- ・子育て世代向け住宅供給事業 972万円
- ・不妊治療等助成事業 2,027万円
- ・**新** 結婚新生活支援事業 450万円
- ・**新** 巡回支援専門員派遣事業 150万円

健康で生きがいを持って生活できる環境整備の推進

- ・若年がん患者等支援事業 172万円
- ・急患診療所運営事業 7,187万円
- ・**新** PCR検体採取センター運営事業 1,884万円



▲令和3年4月開園のよこすかめく森こども園

協働のまちづくり・行財政 / 豊かな地域社会をつくるために

デジタルシフトや地方自治権の拡大への対応

- ・**新** 第2次総合計画基本計画策定 379万円
- ・**新** DX推進計画・地方分散を受けた都市づくり計画策定 400万円
- ・**新** 公共施設等総合管理計画の見直し 650万円
- ・**新** 地域課題解決事業構想策定 1,000万円

性別・年齢・国籍などに関係なくまちづくりに参画できる環境整備

- ・**新** 第4次男女共同参画行動計画策定事業 250万円
- ・市民活動団体等活動支援事業 982万円



環境 / 住み続けたいまちづくりのために

地域循環共生圏やSDGsの視点を入れた環境施策の推進

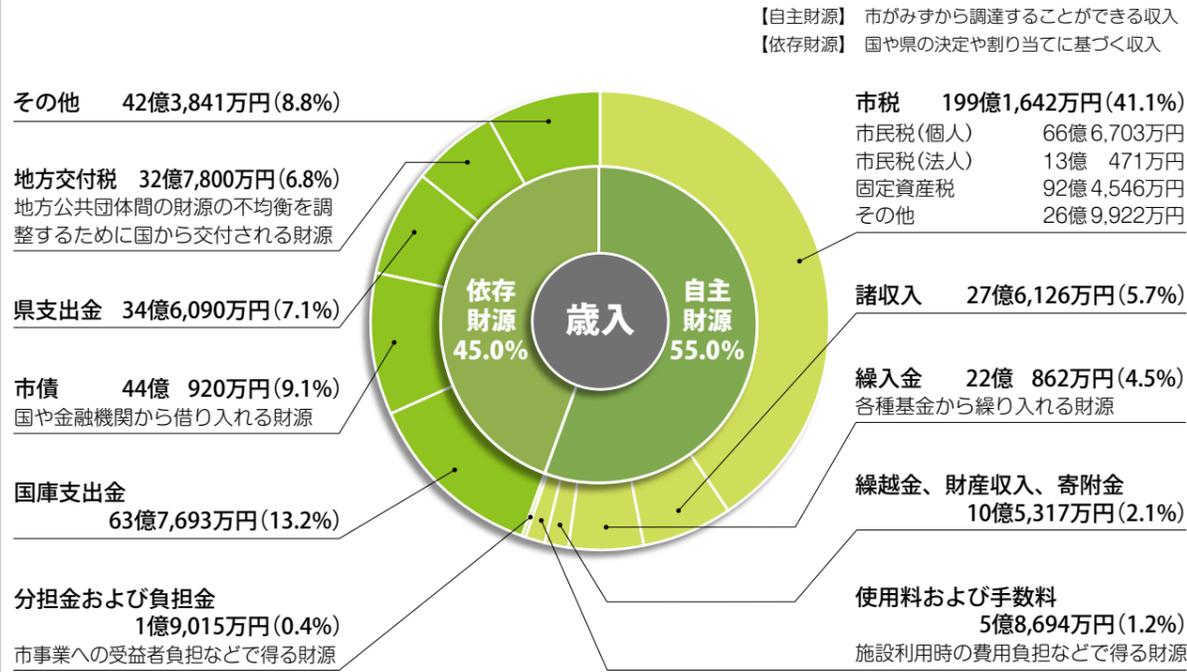
- ・板沢埋立場最終覆土事業 2億円
- ・**新** 新井埋立場改修実施設計 440万円
- ・合併浄化槽個人設置事業 1億6,284万円
- ・掛川市・菊川市衛生施設組合負担金 6億4,190万円
- ・公会堂への太陽光発電施設等設置補助金 100万円



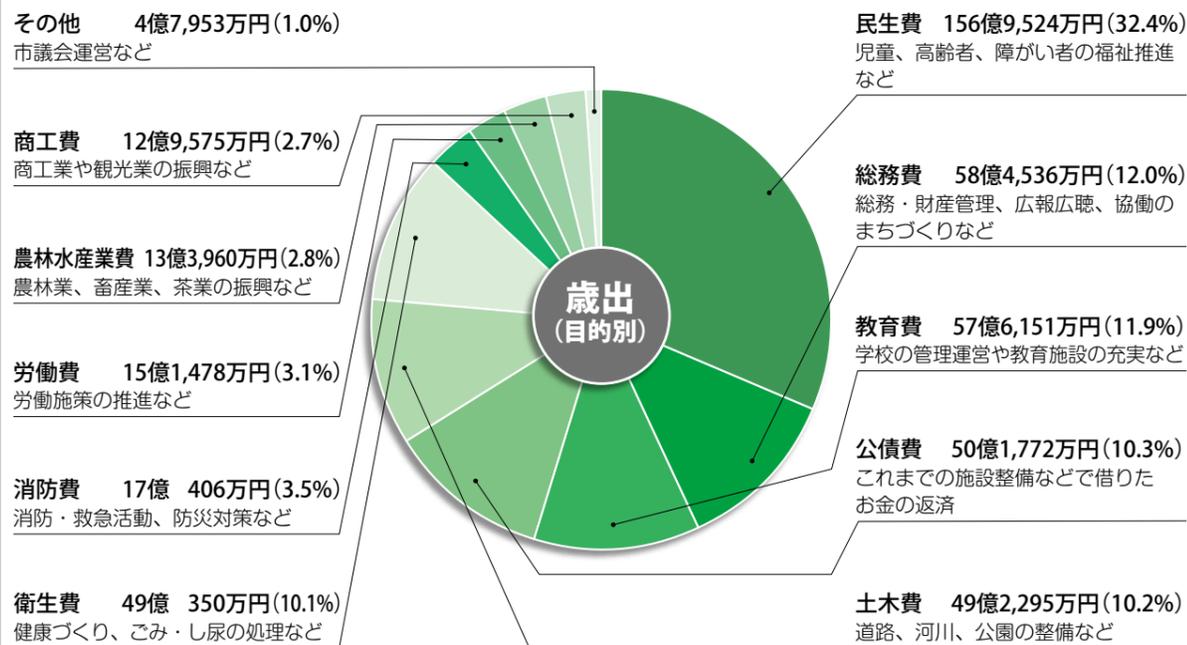
▲かけがわ報徳パワー(株)設立報告会

一般会計 484億8千万円

歳入



歳出



未来への飛翔力を育むための予算 令和3年度

予算

コロナ禍は、市民生活、産業経済、教育などに大きな変化をもたらした。新しい生活様式や社会的価値観を登場させました。

これらを踏まえ、令和3年度の予算は、高い市民力を生かし、暮らし、働き方、教育、産業、デジタルトランスフォーメーション(DX)、経済グリーン化(経済成長と環境保全の両立)、地方分散など社会経済の変化に対応する新しいイノベーションを協働で作り上げていく「未来への飛翔力を育む年」と位置づけ、各施策を推進します。

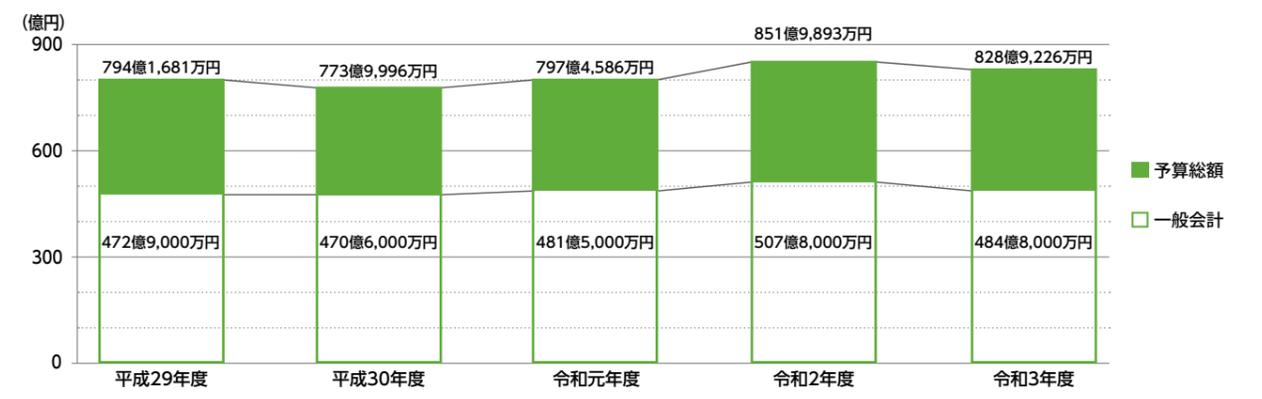


●各種会計予算額の前年度比較表

※△印はマイナスを表します

会計区分	令和3年度	令和2年度	増減額	対前年度比(%)
一般会計	484億8,000万円	507億8,000万円	△23億円	△4.5
特別会計				
国民健康保険	117億9,180万円	119億4,868万円	△1億5,688万円	△1.3
後期高齢者医療保険	13億2,287万円	13億522万円	1,765万円	1.4
介護保険	99億7,893万円	98億7,303万円	1億590万円	1.1
公共用地取得	5億3,836万円	5億3,685万円	151万円	0.3
掛川駅周辺施設管理	3,625万円	1億3,845万円	△1億220万円	△73.8
大坂・土方工業用地整備事業	6億9,863万円	3億4,864万円	3億4,999万円	100.4
上西郷・桜木・東山・佐束財産区	1,534万円	1,431万円	103万円	7.2
計	243億8,218万円	241億6,518万円	2億1,700万円	0.9
企業会計				
水道事業	47億6,272万円	47億4,766万円	1,506万円	0.3
簡易水道事業	4,933万円	5,320万円	△387万円	△7.3
公共下水道事業	44億7,607万円	46億8,147万円	△2億540万円	△4.4
農業集落排水事業	4億8,259万円	5億1,740万円	△3,481万円	△6.7
浄化槽市町村設置推進事業	2億5,937万円	2億5,402万円	535万円	2.1
計	100億3,008万円	102億5,375万円	△2億2,367万円	△2.2
予算総額	828億9,226万円	851億9,893万円	△23億667万円	△2.7

●当初予算総額と一般会計の推移



【一般会計】 行政運営の基本的な経費を網羅した会計
【特別会計】 一般会計とは別に、独立した経費管理が行われる会計
【企業会計】 地方公営企業法の適用を受け市が運営する企業活動に係る会計